

令和4年度当初予算

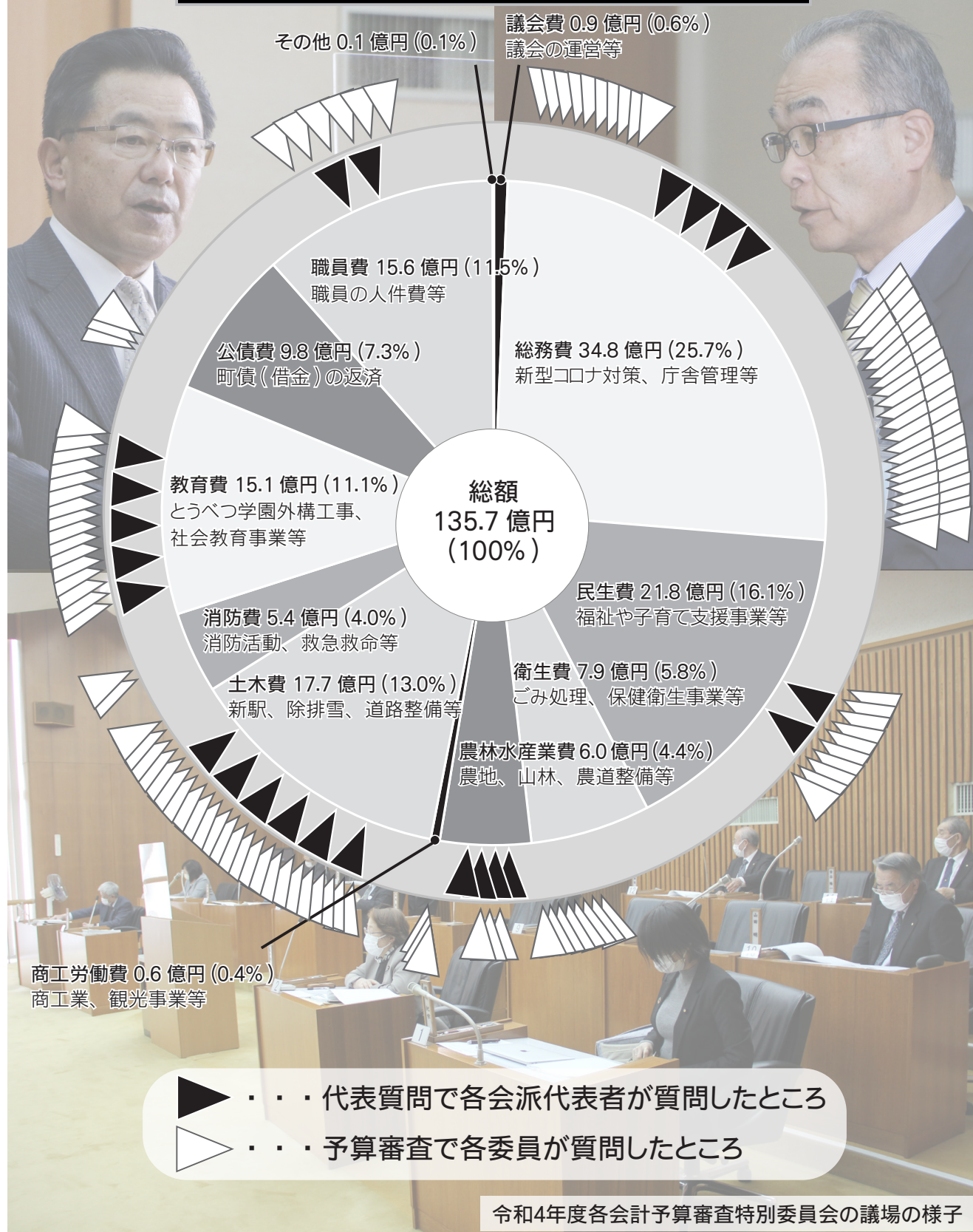
私たちは、ここに注目しています！

後藤町長

一般会計歳出

※一般的な行政にかかる経費の支出

本庄教育長



令和 4 年度当初予算、令和 3 年度補正予算

デジタル田園都市の実現へ

総務文教常任委員会 (3/4・9)、産業厚生常任委員会 (3/7・11)、予算審査特別委員会 (3/16・17・18) を開催し、令和 4 年度当初予算や令和 3 年度補正予算に関する質疑が行われました。

デジタル化へ向けて



タブレットやスマートフォンの操作を教えている様子

総務費

デジタル格差への対策

デジタルデバйд対策事業 79 万円

問

デジタルデバイス※¹ 対策として、高齢者向けスマホ教室を入門、基本、応用の 3 種類用意しているとのことだが、何か所で何回の開催予定か。また、来年も継続するのか。

答

本町と太美の最低でも 2 か所で開催したい考え。回数は 6 か月で 24 講座を予定。受講者アンケート等を取り、町民生活に資するものとなるのであれば、継続していきたいと考えている。

総務費

光ファイバーの民営化

高度無線環境運用事業 353 万円

問

高度無線環境運用事業について、設備の維持管理は、これからはどれぐらい続くのか。デジタル化は国も進めているが、地方創生交付金で賄うなど、財源的な補償は裏付けされているのか。

答

維持管理について、今回は公設民営で整備したが、今後は民設民営として考え。意向は事業者伝えており、引き続き協議を重ねていく。財源については、現在交付金等のメニューがない。



積雪状況を現地確認する職員

職員費

住民の声を聞く職員配置を

職員費 15 億 6,045 万円

問

デジタル対応に向けた職員増とのことだが、雪害はアナログで解決しなくてはならない。現地で住民の声を聞き対応するような職員配置も必要と考えるが、その辺りの配慮は。

答

デジタルで事務効率が上がると、他の部分に目を向けた行政サービスを手厚くできると考えている。基礎自治体として、人員を確実に確保しながら、行政サービスに努めていきたい。

※ 1 デジタルデバйд… インターネットやパソコンなどの情報通信技術を利用できる人と利用できない人との間に生じる格差。

固定資産税業務にデジタルを活用

固定資産税の対象となる土地や家屋の調査業務について、最新の地図情報を利用し、業務効率化を図るため、GISの導入と航空写真（地図）の撮影が行われます。GISとは、Geographic Information Systemの略で、日本語では「地理情報システム」と訳されます。

撮影した地図と固定資産台帳や法務局が持つデータなど、さまざまな情報を結びつけることができ、業務の効率化や安定化、土地や家屋の評価精度の向上などが図られます。

総務費

航空写真は複数自治体で

固定資産 GIS 構築事業 4,089 万円

問

固定資産 GIS システム導入事業について、航空写真を撮るのに 1,994 万円かかるとのことであるが、単独市町村ではコストが大きいので、近隣市町村と共同で行っては。

答

共同化は検討すべきものと認識。しかし、令和 4 年度の撮影は各市町村との協議が整わなかった。次回の撮影は、共同の機会があると思うので、引き続き検討したい考え。

総務費

航空写真オープンデータ化

固定資産 GIS 構築事業 4,089 万円

問

費用がかかる航空写真は、税金を使って撮影した町民の共有財産でもあるので、共通利用できるように検討が必要では。

答

今回は、あくまでも固定資産業務に関する航空

写真の取得で、精度が高く個人情報も映るため、公開については内部検討が済んでいない状況。現状ではできないが、将来展望としては、もちろんオープンデータ化^{※1}が望ましいと認識している。

新庁舎建設へ向けて

土木費

新庁舎検討の支援業務

新庁舎建設検討支援業務 990 万円

問

新庁舎建設検討委員会の議論と新庁舎建設検討支援業務は、どのように関連するものなのか。業務の成果物として、基本構想や基本計画など、何か提出を求めるのか。

答

委員会で検討した内容を取りまとめたり、協議する内容を整理することで、お互い関連を持って進めていく。必要機能や建設規模などを協議するので、それをまとめたものが成果物になる。

土木費

新庁舎建設の補助金

令和 3 年度補正予算審議

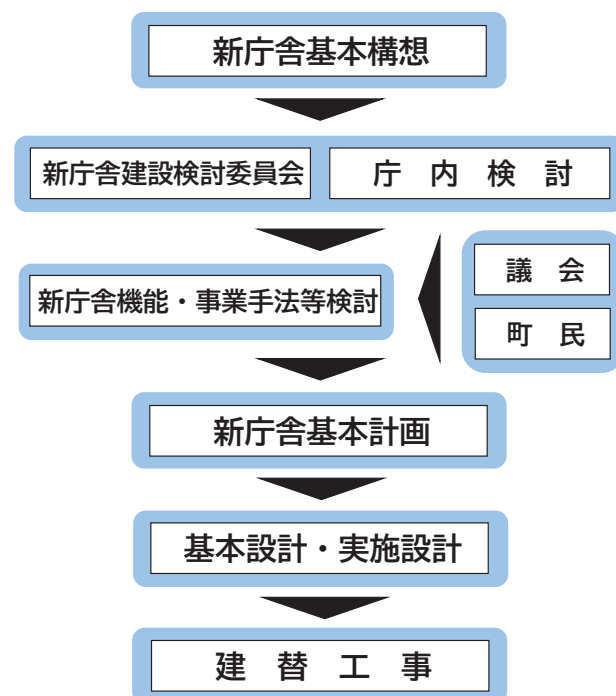
問

新庁舎建設に係る補助金は、整備手法を問わず活用できるのか。例えばリース方式^{※2}の場合には当てはめられないなど、手法によって違いはあるのか。

答

国と協議し、リース方式でも該当すると聞いている。庁舎の所有権が町と事業者のどちらにあるかが重要で、リース方式でも町に所有権を移せば、補助金の活用もしやすくなると思っている。

庁舎建替工事までの手続きの流れ



※ 役場新庁舎の検討に関する情報は、順次公開を進めていますので、詳細については、当別町のホームページをご確認ください。



※1 オープンデータ化… 行政や企業が保有するデータをインターネットなどを通じて誰もが利用できるように公開すること。

※2 リース方式… 民間が資金調達から、公共施設の設計や建設、運営等までトータルで行い、その対価をリース料として支払う契約方法。

新たな除排雪体制「当別モデル」を

土木費

2回目の排雪は

令和3年度補正予算審議

問

生活道路の排雪は、3月上旬で終わったとのことだが、今後2回目の排雪は行うのか。また、稲穂通りなどの幹線道路でも結構雪が残っているが、それはどうするのか。

答

2回目の排雪は、1回目が一通り終わってから、各路線を再確認して、状況を見ながら管理していきたい。幹線道路については、生活道路を一部優先する部分もあり、今後行っていく考え。

土木費

町内会への除雪機貸与

令和3年度補正予算審議

問

3町内会に除雪機を貸与したが、その使用状況や効果は。令和4年度はどのようにしていくのか。

答

2月末現在、3町内会合計で23回利用されている。

主にゴミステーションや会館と団地の通路で利用しているとのこと、ご好評をいただいている。今後、町内会から状況を伺い、連絡協議会で効果を報告し、また意見をいただいて、継続等決めていきたい。

土木費

雪堆積場の確保は

令和3年度補正予算審議

問

令和3年度は、前年より1.6倍の雪堆積場を確保したとのことだが、もう一つの川下の雪堆積場を使わないで済むのなら、確保する必要はなかったのでは。来年も同じように確保するのか。

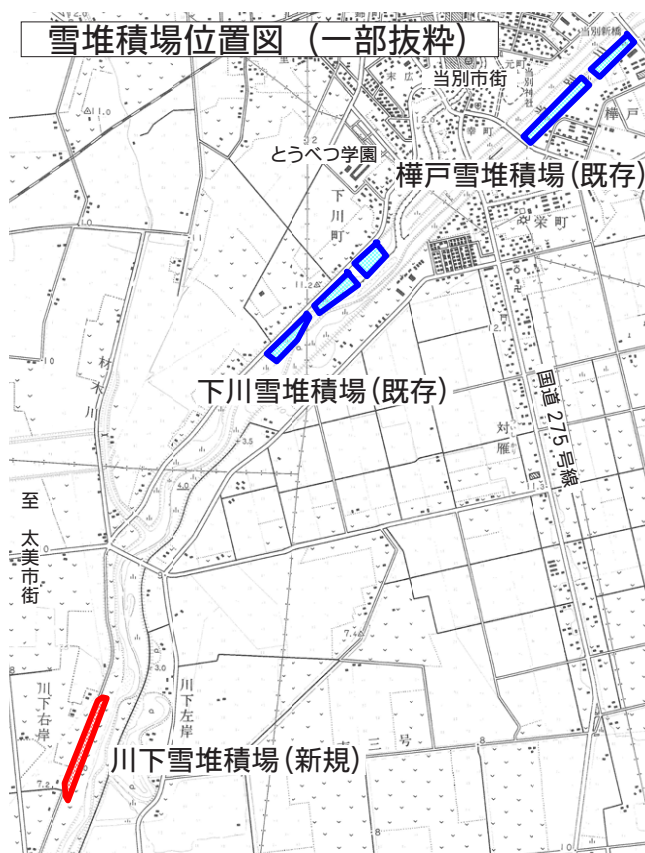
答

容量が9割を越す状況もあり、必要だったと判断している。川下もたまたま入れていないが、また雪が降る可能性もあり、保険として持つことが必要。今後も継続して確保していきたい。



雪堆積場（樺戸町）

雪堆積場位置図（一部抜粋）



土木費

来シーズンの除排雪費

機械センター費 4億7,304万円

問

令和3年度、除排雪に7.6億円かった。令和4年度は4.7億円で本当に良いのか。予算の圧縮や違う除排雪体制を考える大きな転機だと思うが、今後どのように進めるのか。

答

当初予算をどこまで持つべきか議論を重ねた結果、4.7億円とした。豪雪地帯の当別町にとって一番良い、他の自治体に負けることのない新しい方法をしっかりと考えていきたい。

土木費

除排雪「当別モデル」

機械センター費 4億7,304万円

問

令和3年度の除排雪費は、町民1人あたり5万円弱。179市町村の平均が1～2万円で、道内で断トツの金額。町税20億円のうち4割を除排雪に使う状態をどのように考えているのか。

答

除排雪は青天井に予算を付けられない。昔から除雪で優位的である当別ならば、事業費節減に向け、当別モデルという体制を作れると思うので、町全体でその協議をしていきたい。

新築住宅購入支援

住宅購入支援 支援金額表

世帯区分 当別町立地適正化計画に 定める区域		加 算 額		
		子育て世帯 (70万円)	複数世帯 (30万円)	単身世帯 (15万円)
基 本 額	居住誘導区域 (30万円)	100万円	60万円	45万円
	宅地造成区域 (30万円)	100万円	60万円	45万円
	宅地造成区域外 (20万円)	90万円	50万円	35万円
	用途地域外 (15万円)	85万円	45万円	30万円

※ 住宅を建てる区域、世帯構成によって金額が異なります。詳細は当別町のホームページをご確認ください。



総務費

新築住宅購入支援の状況

新築住宅購入支援金 4,000 万円

問

新築住宅購入支援事業が1月から開始されたが現状は。また、周辺自治体の方々には、どのように周知しているのか。

答

現在2件の申請があり、支援金を交付してい

る。周知については、町ホームページや広報の他、町内金融機関の協力の下、住宅ローンプラザでチラシを配布してもらっている。令和4年度は、首都圏等に行き、広くチラシ等を配布してPRしていきたい。

福祉の向上・充実を



産後ケア事業で子育てに安心を

衛生費

新たな産後ケア事業

産後ケア事業 45 万円

問

新たな産後ケア事業の対象を生涯4か月未満とした理由は。また、同じ助産師に担当してもらえるのか。

答

委託先の医療機関、助産院の受け入れ可能期間

ということで、この期間とした。同じ助産師については、訪問型は配慮いただけるが、宿泊型は難しいと聞いている。違う助産師でも、しっかり引き継ぎされた対応により、大きな心配はない。

民生費

防寒保護ブーツも検討を

重度身体障害者等日常生活用具給付費 689 万円

問

重度身体障害者等日常生活用具給付金について、防寒保護ブーツは、当別の冬の移動には欠かせないものであるが、町の対象項目に入れるよう検討はできないか。

答

これまでもパルスオキシメーターやオムツの追加、ストーマ^{※1}用具の金額見直しを行ってきた。保護ブーツも含め、障がいの多様化や社会情勢を考え、追加や見直しを随時検討していく。

介護特会

より早期からの介護予防

一般介護予防事業 991 万円

問

フレイル^{※2}予防の会場は、ゆとりのみとのことだが、高齢の方は近いほうが参加しやすい。Zoom や YouTube を使ってハイブリッドで開催すれば、西コミセンなどでも参加できるのでは。

答

体を動かす関係で、講師や参加者が常に画面に映らないこともあるため、ハイブリッド開催は今後の課題としたい。参加者が増え、2会場にしなければならぬ等、要望があれば検討していく。

※1 ストーマ…手術によって作られた人工肛門や人工膀胱。

※2 フレイル…健康な状態と要介護状態の中間の段階を指し、加齢に伴い心身が衰えた状態。

ふるさと納税



※ 詳細はこちらからご覧になれます。(当別町のホームページへ)

2022 年度版 当別町ふるさと納税カタログ

総務費

より一層のふるさと納税を

まちづくり基金寄附金 27 億円

問

ふるさと納税で 27 億円の予算計上。町の大変貴重な財源。予算にこだわらず、より一層増やす対策を検討しているか。

答

新たな返礼品の発掘、寄付者の 98 % がポータル

サイトからの申し込みであるため WEB 広告を通年実施するほか、新たなポータルサイトとして、ふるなびを導入し、各ポータルサイト運営会社と協力し市場調査等を行い、寄付額増加に向けて取り組んでいく。

粗大ごみ収集 ゴミステーション整備補助

衛生費

粗大ごみの戸別収集

粗大ごみ戸別収集運搬業務 1,779 万円

問

粗大ごみは 2 月、3 月が多いと思うが、雪で狭くなった道路に置くと、通学路の妨げになり危険。小型家電回収のように、自力で運べる人は、役場やゆとろなどに持ち込めるようにしては。

答

粗大ゴミは、道路やゴミステーションではなく、自宅前に置いてもらい、それを回収する対応をしている。ゴミステーションの除雪等の管理については、町内会と連携して対応していきたい。

総務費

ゴミステーション整備事業

町内会運営費補助金 885 万円

問

町内会のゴミステーション整備に、1 件あたり上限 3 万円で 50 % を補助するとのこと。手作りのものや設置済みのゴミステーションの修繕も認めるのか。また、この事業は継続していくのか。

答

箱型ゴミステーションの購入費、修繕のための材料購入費を、町内会運営補助の拡充策に加えるもの。4 月以降に申請をいただき集約したい考え。今後、申請の状況を見て継続していきたい。

ワクチン接種 子育て世帯への給付金

総務費

ワクチン接種割合と副反応

令和 3 年度補正予算審議

問

ワクチン接種を拒否している人は町内で何%くらいいるか。また、2 回目、3 回目の接種が終わって、体調が急激に悪化した事例などはなかったのか。

答

2 回接種した方が 87.6 % のため、12 ~ 3 % の方が接種していないという把握はしているが、拒否している方の人数は把握していない。また、体調の急激な悪化など報告は特にされていない。

総務費

子育て世帯等への給付金

令和 3 年度補正予算審議

問

一度、子どもの人数が誤った決定通知書が送られてきたが、その郵便料は予算に含まれるのか。

答

郵便料に含まれる。人為的ミスにより、対象者 588 名のうち 326 件

の決定通知書に該当児童数が誤って記載されていた。該当者から電話をいただき、改めて正しい通知書を送った。今後、送付する際には、二重三重のチェックを行い、こういったことがないように取り組んでいく。

続く とうべつ学園の整備

校舎本体や駐車場などは完成しましたが、インターロッキングブロック舗装※¹の仕上げ、グラウンド整備、当別中学校解体撤去工事は、令和4年度以降に実施されます。また、当別中学校校舎に想定以上のアスベスト※²が含まれており、解体工事に時間を要することから、グラウンドのうち野球場と多目的グラウンドは、令和5年10月に完成する見通しです。

教育費

とうべつ学園の外構工事

令和3年度補正予算審議

問

とうべつ学園の外構工事を2か年に分けるとのことだが、どこが分かれるのか。また、4月から児童生徒が通うが、その工事により、安全性や遊びや運動の場の確保などに問題は生じないのか。

答

インターロッキング等の仕上げが令和4年度に繰り越しとなる。それにより、グラウンドの造成が令和4年度に入ってしまうが、なるべく子どもたちに影響が少ないような工程を考えている。

教育費

陸上トラック移動の経緯

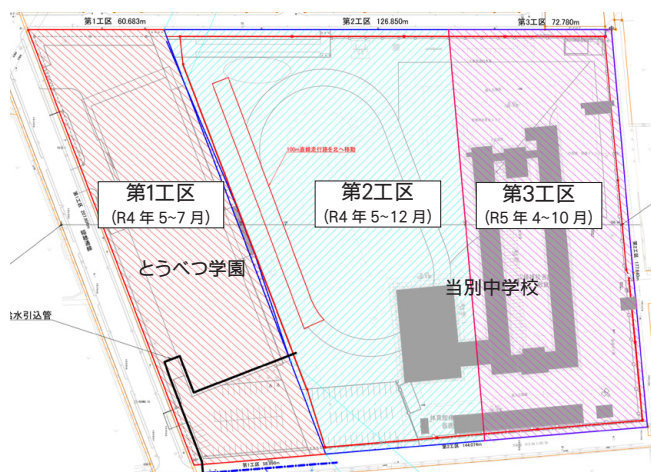
一体型義務教育学校建設事業 7億8,365万円

問

とうべつ学園の100m陸上トラックについて、実施設計の段階では、もう少し南にあったが、北に移動されて芝生広場が狭くなっている。どのような経緯で移動したのか。

答

実施設計後に、100mトラックのフィニッシュラインと競技場で行われる全トラック競技のフィニッシュラインが、同じ位置となることが分かったので、教育活動の最善を考えた上で変更した。



とうべつ学園の外構工事図面（一部）

教育費

保護者説明会に古い図面

一体型義務教育学校建設事業 7億8,365万円

問

陸上トラックの移動は、令和2年7月に確定していたと聞いたが、令和3年10月の保護者説明会では、変更が反映されていない図面が使用された。その理由と経緯は。

答

説明会での図面は、教室の位置などレイアウトのイメージをもってもらうために使用。グラウンドの機能が大きく変わるものではないため変更前の図面を使用した。少し配慮が足りなかった。

教育費

グラウンド整備に遅れ

一体型義務教育学校建設事業 7億8,365万円

問

アスベストにより旧校舎の解体工事が遅れ、一定期間グラウンドが使えないことで、教育活動へ支障が出ると思うが、教育現場や保護者などの声を聞き、特段の配慮をして進めるべきでは。

答

令和4年度はグラウンドが使えないが、とうべつ学園の体育館や武道場、当別小学校グラウンドの使用など、学校現場と協議して、教育活動に少しでも影響がない方法を探していきたい。

総務費

西当小のトイレ洋式化

西当別小学校・中学校感染症対策事業 4,240万円

問

石狩管内で洋式化率70%以下の小中学校は他にない。あと7基の工事を行えば71%になる。令和5年度に実施する確約はできないか。

答

令和4年度、西当別小学校のトイレは、洋式化率が28.9%から55.6%となる。数で言えば倍に改善される。倍になることで、今後は児童が並ばなくなるだろうと推測している。

令和4年5月1日現在、西当別小学校のトイレは45基のうち洋式が13基備えられており、児童数が216人であるため、「約17人で1基の洋式トイレ」を使っている状況です。令和4年度の整備で和式12基が洋式化されると、「約9人で1基の洋式トイレ」が使えるように改善されます。

※1 インターロッキングブロック舗装…コンクリートブロックなどがお互いにかみ合うように組み合わせる舗装方法。

※2 アスベスト(石綿)…天然にできる鉱物繊維。丈夫で変化しにくい特性があるため建材などに多く使用されていたが、肺がんなどの発がん性が問題となり、現在はその使用が禁止されている。

保育士等処遇改善 プレイハウス運営業務

次のページは

一般質問 6人の議員が登壇し、町政に対する質問をしました。

民生費

保育士以外の処遇改善も

令和3年度補正予算審議

問

保育士等処遇改善臨時特例事業は保育士等が対象だが、保育は保育士だけでなく園に勤める方々のチームでやっている。今回の補助は使い方に自由度があると聞が、当別ではどう使われるか。

答

保育士、幼稚園教諭、その他調理員などの従事職員が対象となっている。支給やその具体的な金額については、その認定こども園の裁量の中で行われるものである。



認定こども園 当別夢の国幼稚園

民生費

プレイハウスのプロポーザル

令和3年度補正予算審議

問

※1
プロポーザル審査には保護者代表も入っていたが、実態は子どもを預けている町職員と聞いた。結果に疑義はないが、全て町職員というのは、もう少し他に選択肢や考え方があったのでは。

答

町職員から選んだ訳ではない。選定経過には何の曇りもない。ご指摘については、今後、誤解を招かないような人選を、しっかり話し合いながら進めていきたい。



とうべつ学園のプレイハウス

【その他の主な質問項目】

キャッシュレス消費者還元事業（産業）、町職員の期末勤勉手当減額（総務）、地域防災計画に基づく避難計画等の検討（予特）、私道の除排雪（予特）、都市計画税賦課区域（予特）、断熱マンホール蓋整備（予特） など

「当別モデル」除排雪体制の再構築を

全会一致で原案どおり可決

令和4年度各会計予算審査特別委員会に付託された各会計予算案や条例案などの13件の議案について、3月16日、17日の質疑に続いて、3月18日に付託された議案全てを原案のとおり可決しました。

可決とはなりましたが、除排雪については、大雪や災害に対応できる「当別モデル」の除排雪体制の再構築に取り組むこと、また、トイレの洋式化をはじめとする充実した教育環境の整備に万全を期すことの2点を付して、委員会報告としました。

起草委員会

委員長 山田 明

委員 島田 裕司 五十嵐 信子 西村 良伸
(予算委員会の報告文書を作成する委員会)

令和4年度各会計予算審査特別委員会

委員長 秋場 信一 副委員長 佐藤 立
委員 議長を除く14名の議員

※1 プロポーザル方式…業務委託先などを選ぶ際に、事業者へ企画提案をしてもらい、最も優れた企画提案をした事業者を選ぶ方式。